

■H25.5.25 勉強会<合同>第1回 参加者アンケート結果:13名

No	1.評価項目と戦略案(代替素案)について(グループ検討の進め方、内容等)	2.今後の予定について	その他、PI プロジェクトに関するご意見
1	細かい意見もよく吸い上げて頂いて、丁寧な資料を作って頂いた事に感謝しています。評価項目については、デジタル化について説得力のある資料が必要かと思えます。	特になし	議論も佳境に入ってきていますが、良い方向に進んでいると思います。
2	沼津・原のまちづくりは、駅高架化がなくても進めていけることが多い。高架化とまちづくりは別物で、高架化は決まったことだから、それを活かすために何をやっていこうかという前向きな意見を出していく勉強会でほしい。		原地区の大半が貨物基地はいらないと言っている以上、PIをやっている意味がない。知事は決断できる人になるべきで、県の職員をはじめ多くの人に嫌な思いをさせている。
3	沼津駅周辺のB案は、私達見直しを求めている側からみると、意図的に期日を長くし、費用を高く見積っているように感じた。100m幅の南北自由通路など望んでいない。街中に緑や花が少ないという意見が出たが、住んでいる人の気持ちと行政の姿勢で改善されると思う。		相変わらず女性の参加が少ないですね。今日は代理で来ましたが、都合がつく時は、又参加したいと思います。
4			やはり時間不十分な感否めず。また最大当事者沼津市の出席がないことは極めて不自然。
5	資料が多すぎ、事前にメールにて配布して頂いたほうが有難い。		とても暑かった。
6	代替案について、沼津商工会議所から市に対して要望されている「暫定南北自由通路」のスペックについて、全体場でプレゼンテーションして頂きたい。なぜならば、高架推進派も見直し派もともに一致できる可能性が高い施策だからです。(それをB-6案として公開して頂きたい)強く要望します!!さらにB-7案として、「暫定南北自由通路」(商工会の要望)+三つ目ガード拡幅工事(orオーバーパス4車線)を。資料10ページの案に近いです。費用と工期を示してください。また、計画変更「手続」に5年間はどうしてもかかってしまうのか、そこは短縮できないのか確認したいです。		石田東生先生の冒頭のお話は、大変有意義でした。高い識見で、全体の討議の推移を見守っていただきたいと希望します。高架事業(本体)と貨物駅を直接話し合いの対象にしたことで、当分の間(?)ディベート的(争論的)になってしまうかなと感じました。
7	否定的な意見が多いです。互いを否定する発言は禁止した方が良いのでは。また、発言を途中で止める行為も。		いつもお疲れ様です。ありがとうございます。
8	① 評価項目(指標)について ・「事業費が将来に渡って市財政の負担とならないか」という視点はきわめて重要。市債残高が予算の2倍あり、人口が減少し減収が確実であり、市独自の焼却場や体育館等インフラ整備がたくさんある中では「経費をかけない事業」ができるだけ削減した事業をめざすべきである。 ・ほとんどのデパート(百貨店)が撤退し、中心市街地が衰退している原因を明確にした上で、何が必要か考えるべきで、「賑わい・活力」(活性化)は高架にすれば実現できるものではない。根本的な沼津市のまちづくりの理念・ランドデザインが必要である。駅周辺500mに限定すべきでない。 ・巨額の事業費を投入するだけの「費用対効果」と予想される事業のメリットとデメリットを明確にしておくべきである。特に三つ目ガード前後の交通量調査を実施し最新のデータを把握しておきたい。 ② 戦略案について ・今回は「A1」「A2」「B1」「B2」「B3」「B4」「B5」のように勉強会の意見を取り入れた修正案が提起されたことは一歩前進である。しかし、A案の事業費はいずれも巨額になっており、これでは現事業計画より費用が大きくなり採用できない。鉄道高架=787億円から出発すべきである。 ・「戦略B3」「戦略B4」「戦略B5」の工事費用が大きく工事期間が長すぎる。もっと経費も期間も短縮できる「戦略案」があるはずである。「橋上駅・自由通路」=29億円、三つ目ガード改修=145億円というような表記をすべきである。東静岡駅の橋上駅自由通路の事業費は85億円と聞いている。 ・「戦略B1」「戦略B2」は削除し、「B3」「B4」「B5」をさらに修正していきたい。 ・原地区の戦略案に「A-1案」が提示されているが、「原地区の目標」からは貨物駅の必要性は出てきませんが、なぜ戦略案に入ってきたのか説明が必要。	・6月の合同勉強会は、第1回と同様「評価目標」、「戦略案」について話し合いを深めるべきである。できたら第1回の意見を踏まえて、「修正案」を出していただきたい。特に「B3」「B4」「B5」について経費削減案、期間短縮案を検討していきたい。 ・「高架推進事業」の戦略A案については「費用対効果」(費用便益)について、納得できる説明が必要である。この点は、沼津市、沼津市周辺にとって大きな判断材料になる大事なことである。 ・合同勉強会には、できるだけ「PI委員の先生」と「マスコミ関係」の傍聴をお願いしたい。	第1回合同勉強会でも意見として出しましたが、沼津市当局が参加しない状態で「PIの目標や戦略案」は実現性があるのか、効果があるのか疑問である。沼津市の担当者の参加を促していただきたい。 ・この前もお願いしましたが、第5回勉強会の「参考資料」(追加1)を出していただいた「東静岡駅・清水駅・小田原駅」などの「経費」と「工事期間」を教えていただきたい。ここが大事であり抜けていると資料としての価値がなくなってしまいます。 ・6/12の「現地視察会」では、見学先の責任者の方に説明していただき、できたら質問にも答えていただくような段取りをしておいていただきたい。
9	今回初めて合同となったが、もう少し時間を取って原地区の人の話を聞きたかった。意見をもっと言える、聞ける時間を取ってほしい。	バスの見学会の出席状況を知りたい。	7/13(土)は、連休のため変更できるようであればお願いしたい。原地区で開催や、見学会等も企画願いたい。
10	代理出席としての第一印象は、鉄道高架そのものが「悪」、特に原地区合同の為か、貨物駅(悪)、よって高架鉄道も「悪」の理論! 今後は、もっと各論にテーマを絞り込み、Yes、Noへ結論を早く出すべきと思う!		①街づくりの為の鉄道高架である。 ②鉄道高架は、沼津の街の発展の起爆剤であって「官」がインフラ整備を行い、魅力ある街づくり(ソフト)は「民」が行うとの方向でPRしてもらいたい。
11	資料説明に時間がかかるので話し合いの時間が足りないと思いました。熱心に話ができて良かったと思います。	車座談議を続けて下さい。	
12	冒頭の説明だけで1時間以上、今回は1時間20分。30分以内にまとめてください。会議をしても伝言ゲームで進行者の要約で話が作られてしまう。一番の叩き台「鉄道高架」とはどんな計画だったのか説明し、討議するべきだ。いらぬ案は塗り潰し集約。毎回同じことはやらない。		テーブルが狭く資料が置けない。パワーポイントで鉄道高架の問題点説明の用意出来ず、約120画面ありますが、要点だけなら15分でまとめられます。検討してください。
13	良い場をもうけてもらい勉強になりました。ただ、今までの説明の時間が長く、意見交換の時間にまわしてほしい。		当事者(JR貨物、沼津市役所)も参加して意見を聞きたい。もっと若い方に参加してもらい意見を伺いたい。